

標 題 : A thromboxane effect of a hydroxytyrosol-rich olive oil wastewater extract
in patients with uncomplicated type I diabetes
合併症のないI型糖尿病患者における高ヒドロキシチロソール
オリーブ油排水抽出物のトロンボキサン作用

著 者 : CL Léger, et al. (フランス モンペリエ第1大学 EA Nutrition Humaine et
Athérogénèse)

掲 載 誌 : Eur. J. Clin. Nutr. 59: 727-730 (2005)

要 旨 :

目 的 : 朝食として投与したオリーブ工場排水由来の高ヒドロキシチロソール (HT)
フェノール抽出物の抗酸化/非抗酸化の作用を評価すること。

計画、設定および被験者 : I型糖尿病患者5人がヒドロキシチロソールを初日は25mg
摂取し、続く3日間は12.5mg/日摂取した。

採血をT₀(開始時)およびT_{4d}(4日目)の朝食+ヒドロキシチロソール投与直前
およびT₀の1、2、3および4時間後に実施した。

尿(24時間)をT₀からT_{4d}まで集めた。

開始時のHbA1cは大抵10%低く、血糖は6-24mmol/lの範囲であったが、
総コレステロール、HDLコレステロールおよびトリグリセリドは正常であった。

結 果 : 主な研究結果は、T_{4d}における血液凝固後の血清トロンボキサン(TX)B₂生成
の46%低下であった。

血漿のビタミンA、E、β-カロテンは変化しなかった。

ビタミンCは増加する傾向であった(P=0.075)。

血漿の抗酸化能力はT₀の1時間後だけ増強されたけれども、その主な決定要
因(アルブミン、ビリルビン、尿酸)は変化しなかった。

尿の8-イソPGF_{2α}値は大きなばらつきがあり、ヒドロキシチロソール投与で
有意な影響をされなかった。

結 論 : ヒドロキシチロソールの主な作用は凝固する血小板の作用から成り、血栓症
および微細血栓症のプロセスを予防する可能性をもたらす。

キーワード : ヒドロキシチロソール、オリーブ、糖尿病、TXB₂
